

ベトナムの切り花を世界へ

なにわの流通ノウハウを活用

国際協力機構(JICA)は、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社なにわ花いちば(大阪府大阪市、代表取締役社長 奥田芳彦)が提案する「切り花流通における鮮度・品質維持技術のトータル・コーディネーション事業」(ベトナム)を採択しました。

ベトナムのラムドン省は標高が高く冷涼な気候のため、国内最大の花の栽培地となっています。近年では切り花の生産量が2倍に増加していますが、収穫から輸送面までの流通過程には課題が多く、生産地から消費者の手に届くまでに切り花の鮮度・品質が劣化する原因となっています。

株式会社なにわ花いちばは半世紀以上の歴史を持つ 花卉卸・流通のスペシャリストとして、花卉の鮮度・品質を維持するための流通のノウハウを蓄積してきました。今回同社は、ラムドン省の花卉の収穫-選別-梱包-輸送過程での鮮度・品質を向上させることを目指し約1年間の調査を行います。現地調査では、ラムドン省人民委員会およびダラット花協会と協力し、流通過程での品質低下要因の分析や鮮度維持のためのノウハウ紹介などを予定しています。切り花の鮮度を維持する流通の仕組みが整うことで、将来的には国内販売だけでなく周辺諸国への輸出が増加し、現地の花卉産業の活性化や生産者の収入改善につながることを期待されています。



現地での活動の様子



奥田社長

なお、本調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」(注)として実施され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

(注) 案件化調査は、2012年度から実施されており、今回は全国で36件が採択。

参考:(プレスリリース)案件化調査2017年度第1回公示の採択結果について

https://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/ku57pq00001yndld-att/investigation_170308_result.pdf

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 企業連携課 担当 小西

TEL 078-261-0397 e-mail : Konishi.Yoko.2@jica.go.jp